

イノベーションアカデミースmartエネルギー棟

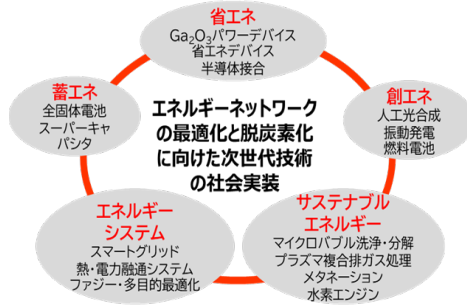


大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

別紙1

施設の概要

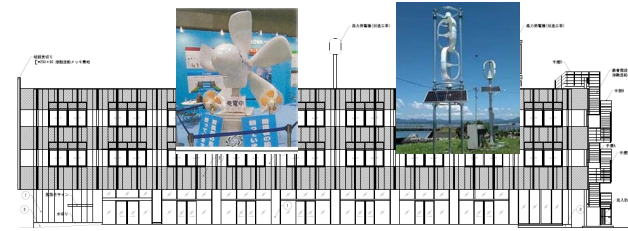
スマートエネルギー領域において、産学官民リビングラボとしてネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)化やスマートビルの社会実装に向けた学内研究シーズの実証実験及びオープンイノベーションの場として、企業との共創研究やスタートアップ創出を推進するための産学官民リビングラボ施設を整備する。



インキュベーション

オープンイノベーション

関西電力様への寄附によるマイクロ風力発電システムを屋上に設置し、実証実験を共同実施



研究力の向上戦略との関係性/整備する施設の必要性

この施設に設置されたエネルギー管理システムを用いた新たな熱・電力融通ネットワークシステムが開発されるとともにスマートビルを題材として実現する、アーキテクチャ、標準化、APIなどが構築され、研究力の大幅な向上が期待される。また、多くの参入が可能な産業基盤が構築され、産学官共創研究が加速する。社会実証実験の成果を見える化し、行政との連携によって都市のDX・GX化を目指した研究の社会実装や新事業の創成など大きな展開が期待できる。

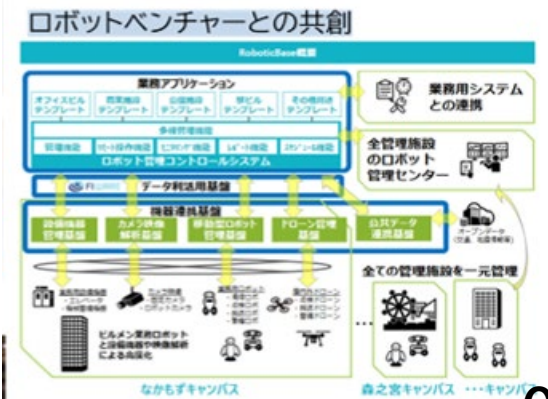


整備する施設の効果について

行政とも連携したオープンイノベーションエコシステム拠点として、多彩なステークホルダーが集まる場を提供する。さらに、DX・GX共創研究を通して、人の活動と調和した環境の実現、ナッジおよび行動変容を通じた成熟社会の実現、人とロボットが調和された社会の実現に向けた研究開発が促進される。これらの活動の成果として、自治体と連携した拠点事業の獲得件数を10年後には3倍以上にするとともに、本学発スタートアップ数を10年後には約2倍以上創出する。

施設名 : イノベーションアカデミー共創研究拠点 (スマートエネルギー棟)
構造 : 鉄鋼造3階建
規模 : 延床面積約3,000㎡
予定地 : 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
主な機能 : 産学官共創リビングラボ&オープンイノベーション拠点
・イノベーションエコシステム拠点として、アントレ教育カリキュラムの演習やハッカソン/テックソン(技術ベースの価値創造)イベント、行政と連携したアイデアソン、スタートアップ支援のピッチイベントなどに無料開放
・産学官民リビングラボとしてエネルギー材料研究、エネルギー管理システムやスマートビル、自走ロボット研究や産学官連携人材育成などの共創の場(インキュベーション)を提供

- ・マイクロ風力の計測・実証
- ・マイクロ風力の出力予測手法の開発
- ・ペロブスカイトPVの出力予測
- ・再エネ設備のアセットマネジメント最適化





イノベーションアカデミースマートエネルギー棟



【建物概要】

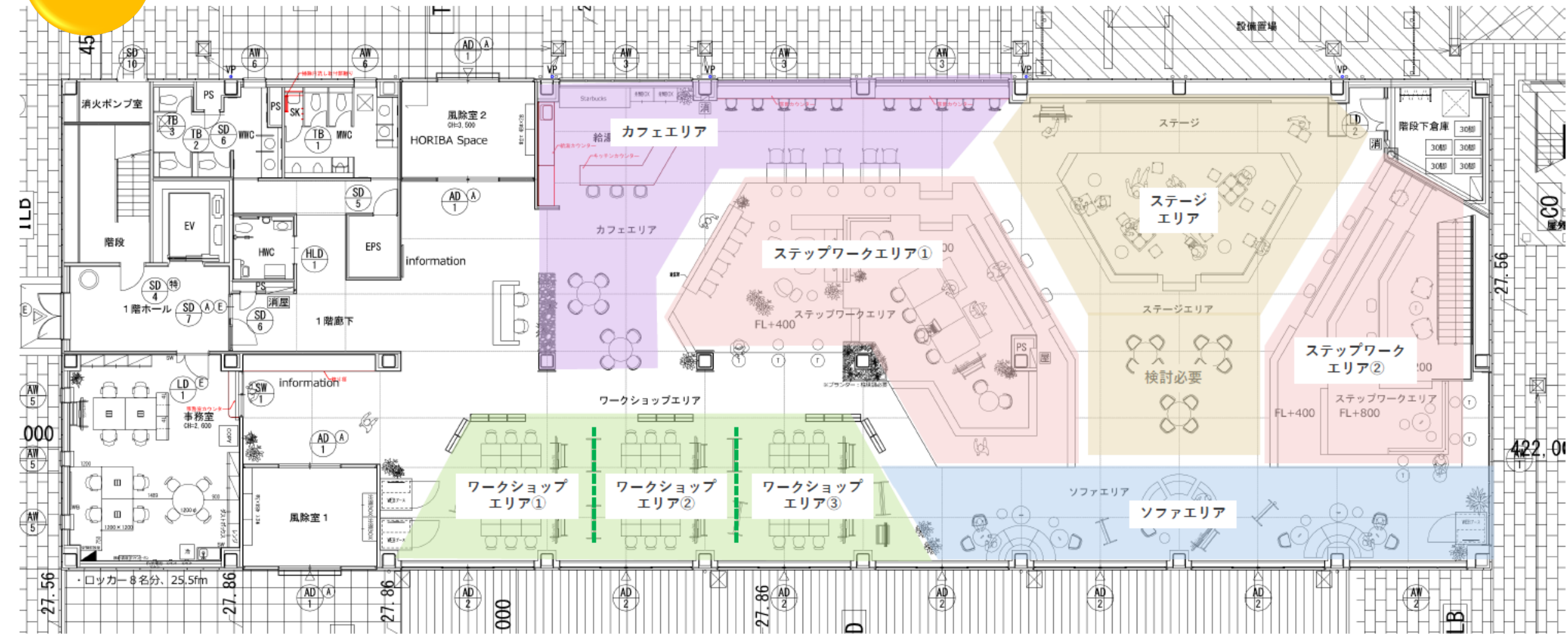
名称:大阪公立大学イノベーションアカデミー共創研究拠点(スマートエネルギー棟)

所在地:大阪府堺市中区学園町1番1号

建物規模:鉄骨造・地上3階建て

延床面積:2,893.10㎡(1F:1,005.60㎡・2F:881.90㎡・3F:1,005.60㎡)

1階



1階



各キャンパス(ia拠点)を繋いだ
アイディエーションイベント

325型LEDディスプレイ
遠隔会議システム
講演者・会場のリアル映像



カフェエリア



ワークショップエリア



ステージエリア



ステップエリア



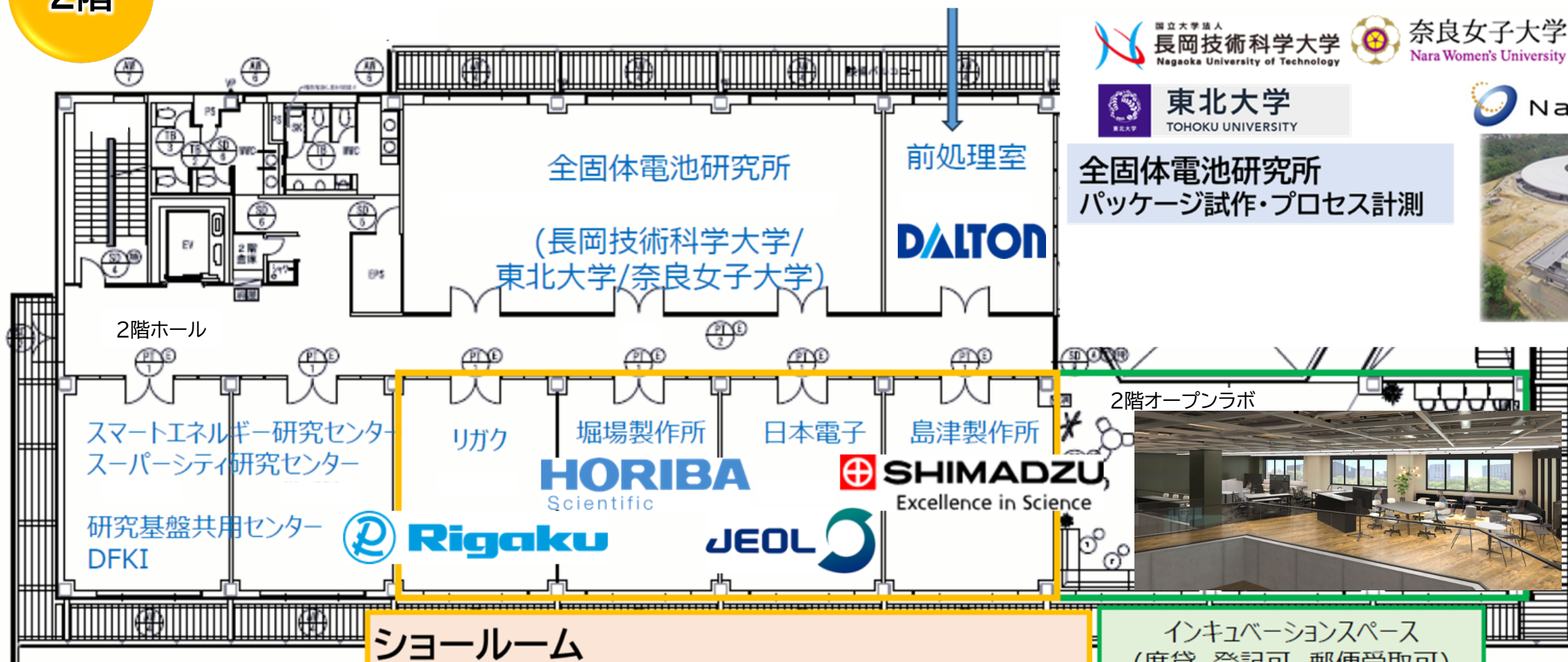
ステップエリア



ソファエリア

2階

(株)ダルトンよりご寄附頂いたドラフトチャンバー、実験台各2台を設置



国立大学法人
長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

奈良女子大学
Nara Women's University

東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

NanoTerasu

全固体電池研究所
パッケージ試作・プロセス計測



ショールーム

- 1 最先端の機器を利用した産学共創研究の加速
- 2 データ連携・ネットワーク・PF化の促進などの共創
- 3 機器設置を通じた人材育成

2階



- 本学発のスタートアップや、起業前の活動を行うためのスペースとして、「インキュベーションエリア」を設置。
(利用者専用の有料コワーキングスペース)

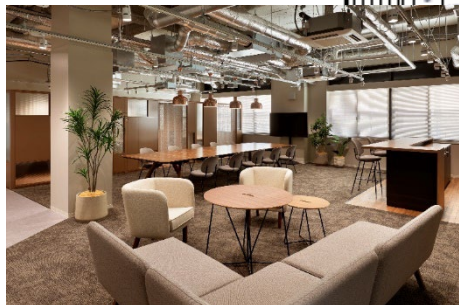
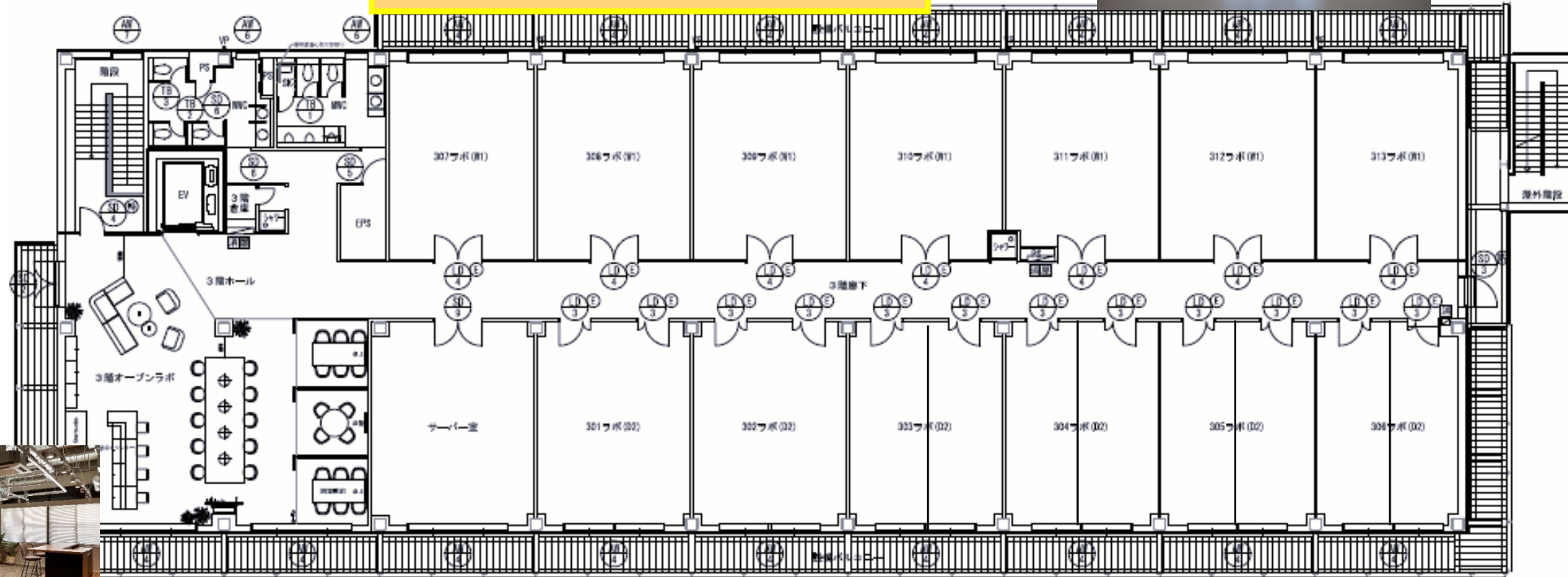
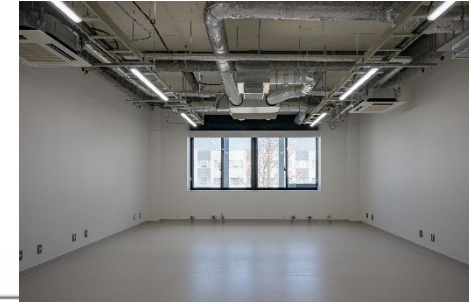
吹き抜けからステージエリアの
イベントにも参加が可能



3階

オーダーメイドの企業共創活動

- 公立大学の総合知で企業と共創
- 社会実証実験から社会実装へ
- 社会実装を基礎研究で支える
- 学生との共創





ia拠点:リビングラボの整備

キャンパス	場所	状況等
もりのみやHQ	UR 1 階 (ほとりで)	2025年3月大阪公立大学担当箇所を整備完了 2025年9月UR担当箇所整備完了 ※運営はUR
	UR 3 階	もりのみやHQの看板を掲示
	森之宮キャンパス	2026年度以降検討
なかもずハブ	スマートエネルギー棟 1 階	2025年3月整備完了 2025年4月運営開始
すぎもとウイング	高原記念館 1 階	2025年5月施設管理委員会すぎもと部会で承認 2025年12月完成予定
あべのウイング	看護新棟 3 階	2025年12月完成予定
なんばウイング	I-siteなんば 3 階	2024年8月運営開始
りんくうウイング	2 階カフェテリアの一部	2025年3月整備完了 ※運営は検討中

リビングラボとは、生活の場(リビング)を実験場(ラボ)と見立て、様々な主体(産学官民)が参加し、ユーザー視点を取り入れながら、製品やサービス等を開発・共創していくオープンイノベーションの手法